

スポーツ施設の整備促進について

【担当省庁】文部科学省、国土交通省

京都スタジアム整備事業の「スポーツ振興くじ助成事業」への採択

- ◆ 京都府では、京都中部の亀岡市において、青少年の夢とあこがれの舞台となるような専用球技場である京都スタジアム（仮称）の整備を進めており、「スポーツ振興くじ助成事業（大規模スポーツ施設整備助成）」に採択していただきたい。

京都府立運動公園の整備のための「防災・安全交付金」、「学校施設環境改善交付金（社会体育施設）」等の予算の確保

- ◆ 2020 年の東京五輪開催を受け、スポーツへの関心がますます高まっており、スポーツ庁の設置など政府のスポーツ振興体制を整えていただきたい。
- ◆ スポーツ振興には施設整備が不可欠であり、京都府においても京都府立丹波自然運動公園におけるジュニアアスリートの育成拠点や京都府立山城総合運動公園において幅広い府民のスポーツ活動拠点の整備を進めているため、「防災・安全交付金」、「学校施設環境改善交付金（社会体育施設）」及び「スポーツ振興くじ助成事業（地域スポーツ施設整備助成）」の予算を十分確保していただきたい。
特に、「学校施設環境改善交付金（社会体育施設）」においては、テニスコートや野球場が対象外であったり、交付算定基礎となる施設単価が低いという課題があり、ニーズに応じた施設整備のため、これらを見直していただきたい。

<主要な構想>

- 京都府立丹波自然運動公園：「京都トレーニングセンター構想」
ジュニアアスリート（中高生）の育成拠点施設の整備
- 京都府立山城総合運動公園：「京都スポーツヒル構想」
府民の多様なニーズに応じたスポーツ活動拠点整備
- 京都府立木津川運動公園：「幅広く府民が気軽にスポーツを楽しむ公園」
山砂利採取跡地の自然再生と様々なスポーツ・レクリエーションが展開できる公園の整備

<スポーツ振興くじ（toto）助成事業>

◎大規模スポーツ施設整備助成

スポーツ振興投票対象試合を実施する競技場の新設事業に係る工事費等を助成する。

◎地域スポーツ施設整備助成

住民の身近なスポーツ活動の場となる施設整備に係る工事費等を助成する。

<文部科学省の概算要求>

◎学校施設環境改善交付金 2, 245 億円

義務教育諸学校や社会体育施設の施設整備の実施に要する経費に充てる。

<国土交通省の概算要求>

◎防災・安全交付金 2兆5, 189 億円

国民の命と暮らしを守るインフラ総点検・再構築に資する事業に交付する。

現状・課題等

◎ 京都スタジアム（仮称）の整備

目的

- 国際的、全国的な試合に対応でき、多種目にも対応できるスタジアムを整備する。
 - スポーツを通じた青少年の健全育成（青少年の夢とあこがれになる施設）
 - 人が集い、地域振興に貢献する施設
 - 防災機能など複合的な機能も想定

整備場所

亀岡市

整備概要

- 収容規模 25, 000 人（J 1レベル）
- 用途 サッカー、ラグビー、アメフトの専用球技場
- 全席屋根付き
- 整備スケジュール 基本・実施設計、工事 平成 25～28 年度
(予算概算 設計 約3億円、工事 約130億円)
- 京都サンガがホームスタジアムとする予定
- スタジアム本体やその周囲に府域全域から集客できるにぎわい施設を整備

◎ スポーツ施設の整備状況

政令指定都市を抱える府県及び人口規模類似府県（21 都道府県）の公共スポーツ施設総数は、京都府が最下位

◎ 京都府立運動公園の整備

■京都府立丹波自然運動公園 「京都トレーニングセンター構想」

丹波自然運動公園内の恵まれた自然環境を生かし、中学・高校生を中心としたジュニア競技者の育成拠点として、トレーニング機能を付加する施設を宿泊棟と合築で再整備

<主な再整備施設>

- ・トレーニングセンター(宿泊棟合築)
 - ・陸上競技場第2種公認化整備
 - ・テニスコートの屋根設置
 - ・グラウンドゴルフ場整備
 - ・補助競技場の人工芝化
- 平成 26 ~ 30 年度で実施予定
事業見込 約 15 億円
※平成 26 年度必要見込額
940 百万円(国庫 260 百万円)

■京都府立山城総合運動公園 「京都スポーツヒル構想」

広大な園地や都市近郊に立地していることから、府民のスポーツ活動拠点として、新たなニーズに応える施設の再整備

<主な再整備施設>

- ・陸上競技場のスタンド屋根設置
 - ・総合クラブハウスの設置
 - ・テニスコートの屋根設置
 - ・陸上競技場の夜間照明設備の設置
 - ・第2競技場の人工芝化
- 平成 26 ~ 30 年度で実施予定
事業見込 約 13 億円
※平成 26 年度必要見込額
881 百万円(国庫 384 百万円)

■京都府立木津川運動公園

山砂利採取跡地の自然再生と緑豊かな公園と府民参画により府民が育てる公園を基本方針とし、南区域は平成 26 年春に開園予定

平成 26 年度から北区域に様々なスポーツ・レクリエーションが展開できる広場等の整備に着手予定

<北区域の主な整備予定施設>

- ・スポーツ広場
 - ・ふれあい広場 他
- 平成 26 年度～
事業見込 約 62 億円
※平成 26 年度必要見込額
20 百万円(国庫 10 百万円)

■広域防災拠点としての運動公園

丹波自然運動公園及び山城総合運動公園については、広域防災拠点に位置づけ、警察や消防、自衛隊の救助部隊の集結場所、救援物資の集積配送場所として活用することとしている。

また、木津川運動公園についても、供用開始後は同様の活用をすることとしている。

【京都府の担当部局】

文化環境部 スポーツ振興室 075-414-4252
建設交通部 都市計画課 075-414-5272